掛川工房つつじ交流コンサートに200名

5/24 掛二小体育館

つづじ利用者さんの合唱「春」でオープン

掛二小体育館が２００名の参加者の熱唱に包まれました。５月２４日に開催された掛川工房つつじ交流コンサートが、利用者さんによる合唱「春」で幕を開けました。

続いて行われた、掛川市出身の演歌歌手「三咲綾」さんのステージでは、今話題沸騰中の「天浜線」を含む４曲を披露。その後、森昌子さんの「せんせい」をつつじ利用者さんと一緒にステージで熱唱して頂きました。

音楽と似顔絵、二つの芸術のコラボレーションを満喫

コンサート後半では、地元末広町出身のギターリスト「服部こうじ」さんと似顔絵「桜小路富士丸」さんによるエンターテイメントショーが行われ、こうじさんの見事なギター演奏に合わせて、富士丸さんの大胆かつ微細な筆さばきから描かれる似顔絵に２００名の観客は歓喜の渦に包まれました。

秋葉路区『モッコク』

秋葉路公会堂前に雄雄しく聳え立つ『モッコク』が市の指定文化財天然記念物に指定され早や六年の歳月が経ちました。二十年以上前の秋葉路造成の際、源ヶ谷池にあった樹齢一千年の『モッコク』を街のシンボルツリーにと計画しましたが、専門家から移植不可能と言れておりました。それを女性初の樹木医・塚本先生の周到な準備と養生施策により見事に移植が完了し、その後の指定へと繋がりました。また、平成十八年、樹勢が衰え非常に危険な状態に陥りましたが、先生の渾身的な治療・養生施策により見事蘇生し、今に至っております。

そして、今回日本テレビの番組『笑ってコラえて』で掛川市秋葉路の『モッコク』の木を移植された再現ドラマとして紹介されることになり（撮影：五月十日、放送：六月三日）全国の皆さんにその雄姿を披露する機会を得るに至り、まさに銘木としての価値がさらに高まったと言えるでしょう。

平安の世から今日まで、時代の変遷を見続けてきたこの『モッコク』がこれからも子々孫々までこの地日本・掛川を見続け見守ることを願って止みません。

秋葉路区長　西舘　利雄

シンボルツリーの石碑

平成１５年６月号の写真

［編集後記］　年度初めの本号は体制不十分、時間の制約もあり、本当に発行出来るかと心配しましたが何とか出す事が出来ました。一年間部員一同がんばりますのでよろしくお願いします。

〈広報部員〉　川島俊夫(二瀬川)　三浦繁雄(上屋敷)、宮崎　泰(秋葉通り)、村松睦信(鳥居町)、岡本金作(鳥居町)、石貝正人(橘町)、服部薫(末広町)、澁谷尚士(長谷)、丸尾英幸(七日町)、東山亜希(秋葉路)